

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公開番号】特開2017-33728(P2017-33728A)

【公開日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-006

【出願番号】特願2015-151340(P2015-151340)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 23/00 (2015.01)

F 2 1 V 19/00 (2006.01)

F 2 1 V 31/00 (2006.01)

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【 F I 】

F 2 1 S 2/00 2 3 0

F 2 1 V 23/00 1 2 0

F 2 1 V 23/00 1 5 0

F 2 1 V 19/00 1 5 0

F 2 1 V 19/00 1 7 0

F 2 1 V 19/00 4 5 0

F 2 1 V 19/00 5 1 0

F 2 1 V 31/00 3 0 0

F 2 1 V 31/00 1 0 0

F 2 1 V 31/00 2 5 0

H 0 1 L 33/00 L

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月11日 (2018.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面に平坦面を有する筒体と、
 前記筒体の平坦面に配される L E D ユニットと、
 前記筒体を内部に収容する直管状の透光性カバー体と、
 前記透光性カバー体の各端部内に配され且つ前記筒体を当該透光性カバー体に対して位置決めする位置決め部材と、
 前記透光性カバー体の端部を塞ぐ蓋体と
 を備え、
 前記位置決め部材は、板状部と、当該板状部の一方の面に設けられた筒状部とを有し、
 前記板状部の周面の少なくとも一部が前記透光性カバー体の内周面に当接し、
 前記筒状部は前記筒体と嵌合する
 直管形ランプ。

【請求項 2】

前記位置決め部材の板状部の外周面形状は、前記透光性カバー体の内周面形状と一致し

、

前記位置決め部材の筒状部は前記筒体に挿入される

請求項 1 に記載の直管形ランプ。

【請求項 3】

前記板状部の外周部分は、当該板状部の厚み方向であって前記透光性カバー体の長手方向の中心側に向かって張り出す鍔部となっている

請求項 1 又は 2 に記載の直管形ランプ。

【請求項 4】

前記 LED ユニットに電力を供給する電源ユニットを前記筒体の内部に有し、

一方の位置決め部材の前記板状部は、前記筒状部が存在する側から見たときに当該筒状部の内周面に囲まれた領域内に、貫通孔を有し、

一端が前記電源ユニットと電氣的に接続し且つ他端が商用電源側に接続される外ケーブルが前記貫通孔を通る

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の直管形ランプ。

【請求項 5】

前記 LED ユニットに電力を供給する電源ユニットを前記筒体の内部に有し、

他方の位置決め部材の前記板状部は、前記筒状部が存在する側から見たときに、当該筒状部の内周面に囲まれた領域と当該領域の外側領域とのそれぞれに 1 つ以上の貫通孔を有し、

前記電源ユニットと前記 LED ユニットとを電氣的に接続する内ケーブルは、前記他方の位置決め部材の前記領域内の貫通孔と前記領域外の貫通孔とを通る

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の直管形ランプ。

【請求項 6】

前記電源ユニットは、前記 LED ユニットに電力を供給するための回路を構成する電子部品が長尺状の回路基板に実装されてなり、

前記他方の位置決め部材は、前記回路基板を固定するための固定手段を有している

請求項 5 に記載の直管形ランプ。

【請求項 7】

前記透光性カバー体の端部と前記蓋体との間に配されたパッキンを備え、

前記蓋体は前記透光性カバー体の端部が挿入される挿入溝を有し、

前記挿入溝は前記透光性カバー体の周面に当接する凸部を有し、

前記パッキンは前記挿入溝における前記凸部が存在しない部分に配されている

請求項 1 ～ 6 の何れか 1 項に記載の直管形ランプ。

【請求項 8】

設置面に設置される器具と、当該器具に着脱自在に装着される直管形ランプとを備える照明装置において、

前記直管形ランプは請求項 1 ～ 7 の何れか 1 項に記載の直管形ランプである

照明装置。